

\*\*\*\*\*



# 鶴報

第258号  
2026年3月1日

日本大学鶴ヶ丘高等学校 広報部  
東京都杉並区和泉2-26-12  
TEL 03-3322-7521 (代)  
<https://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp>



第2学年マレーシア・シンガポール修学旅行

## 学校行事《第3学期》

- |      |                       |      |                       |
|------|-----------------------|------|-----------------------|
| 1月8日 | 始業式                   | 13日  | 1・2年総進 日大チャレンジ模試      |
| 9日   | 2年 実力養成講座（～2月21日）     | 21日  | 1年 保護者対象修学旅行説明会       |
| 14日  | 2年総進 志望理由書講座          | 25日  | 3年生を送る会               |
| 17日  | 実用英語技能検定（1・2年全員受験）    | 3月1日 | 第75回卒業証書授与式           |
| 19日  | 3年 大学入学共通テスト自己採点      | 4日   | 1・2年 学年末試験（～7日）       |
| 22日  | 推薦入学試験（総進・特進）         | 7日   | ブライトン語学研修（3年希望者・～23日） |
| 23日  | 1年特進 記述模試             | 8日   | 新入生招集日                |
|      | 2年特進 記述模試（～24日）       | 10日  | 1・2年 答案解説授業（～11日）     |
| 24日  | 総合型・学校推薦型選抜 合格者報告会    | 11日  | 一般選抜合格者報告会            |
| 28日  | 2年総進 志望理由書サポート        | 19日  | 令和7年度修業式              |
| 2月3日 | 芸術鑑賞会                 | 23日  | 春期外部特別講座（～27日）        |
| 5日   | 2年特進 大学入学共通テスト模試（～6日） |      |                       |
| 10日  | 第1回一般入学試験（総進・特進）      |      |                       |
| 11日  | 第2回一般入学試験（総進・特進）      |      |                       |

令和7年度 第75回卒業証書授与式

卒業おめでとう

第七十五回卒業証書授与式が、令和八年三月一日(日)、本校体育館にて挙行された。三九九名(男子二〇四名、女子一九五名)の卒業生が、数々の思い出と未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

学長祝辞

大貫進一郎学長

学校から卒業生へ記念品贈与

代表 番場 小夏(南菅中)

卒業生から学校へ記念品贈呈

代表 菅原 夏緒

同窓会から卒業生へ記念品贈与

代表 濱中 優花(梅丘中)

桜園会から卒業生へ記念品贈与

代表 堀尾 涼花(稲田中)

在校生代表送辞

栗原 優真(阿佐ヶ谷中)

卒業生代表答辞

星 ひかり(国分寺三中)

卒業生保護者代表謝辞

細田 典子様

校歌斉唱

閉式

優等賞

代表 浜田 三咲(文京一中)

皆勤賞

代表 園田 来幸(天沼中)

校長賞(皆勤賞受賞者の保護者)

代表 園田 紀子様

生徒会功労賞

代表 古川 敦也(深川三中)

学校長式辞

寒川 聡校長

優等賞

A 古川 敦也(深川三中)

B 上杉 遥音(稲付中)

濱中 優花(梅丘中)

F 菅原 夏緒(多摩市立和田中)

G 大幸 初咲(浅間中)

H 番場 小夏(南菅中)

I 濱田 三咲(文京一中)

L 園田 来幸(天沼中)

堀尾 涼花(稲田中)

本校からの表彰

皆勤賞(校長賞)

※( )内は校長賞+皆勤賞受賞者の保護者に贈る

A 森 蒼奈(千歳中)(幹正)

B 大澤 慧士(東海中)(佐恵子)

齋藤 玲王(向丘中)(友美恵)

松尾 樹乃(武蔵野四中)

C 安部 信太朗(生田中)(正代)

中山 陽翔(麻生中)(智深)

F 光廣 さつき(向陽中)(昌子)

G 中里 真菜(第二南砂中)

〔寛子〕

G 太田 椰子(西高津中)(節子)

H 内野 にこ(三宿中)(あゆみ)

大越 帆南(志村一中)(裕美)

木村 優友(世田谷中)(玲子)

I 大澤 桃香(小山中)(知江)

久保田 悠介(富士中)

園田 来幸(天沼中)(紀子)

馬場 葵梨(小松川一中)

〔美智子〕

J 鈴木 葵(桜丘中)(由美子)

K 巽 千佳(豊玉二中)(美登里)

L 中島 芽生(ひばりが丘中)

〔友恵〕

L 渡邊 涼葉(稲城五中)(禎美)

精勤賞

A 石井 雄也(北沢中)

B 川端 萌衣(赤塚三中)

C 藤本 纏(晴海中)

D 近江 桃奈(中野東中)

E 鈴木 陸(緑中)

青木 千紘(神明中)

薄井 千奈(関中)

鹿子木 蒼(梅丘中)

久永 泰史(高井戸中)

F 竹野 純(美しが丘中)

G 江成 安南(大野北中)

加瀬 拓海(目黒一中)

昆 友樹(橋原中)

瀧沢 柗太

〔いずみの森義務教育学校〕

H 高橋 花歩(三鷹六中)

I 浜田 三咲(文京一中)

I 酒寄 百珈(伊興中)

J 井之上 悠(薬師中)  
 相杜 美月(荏原六中)  
 奈良 泰希(有馬中)  
 吉澤 芽依(三鷹三中)  
 K 上田 拓音(高井戸中)  
 太田 壮也(東村山三中)

生徒会功労賞  
 ○生徒会長  
 L 星 ひかり(国分寺三中)

○学級委員会  
 L 吉本 新代(松溪中)

○風紀委員会  
 G 神田 慶人(高津中)

○厚生委員会  
 C 小寺 瑛久(御成門中)

○部活動運営委員会  
 F 竹野 純(美しが丘中)  
 ○鶴ヶ丘祭実行委員会  
 C 安部 信太朗(生田中)

○体育祭実行委員会  
 F 佐藤 祐多(田柄中)

○編集委員会  
 G 小林 凜(足立七中)

○図書委員会  
 J 菅家 幸太朗(石神井西中)

部活動(体育系)  
 ○スキー部  
 D 鈴木 陸(緑中)  
 B 山下 真矢(蒼生中)

○陸上競技部  
 D 今村 奏良(深川三中)

○野球部  
 H 住 日翔夢(上一色中)

○サッカー部  
 A 橋本 翔太(稲城六中)

○男子バスケットボール部  
 F 道端 悠人(目黒十中)

○女子バスケットボール部  
 C 布野 桃子(鶴川二中)

○男子バレーボール部  
 A 野村 晴哉(本所中)

○女子バレーボール部  
 K 田村 優佳(桜丘中)

○アメリカンフットボール部  
 K 谷地 宙(西宮中)

○テニス部  
 A 湯川 優亜(鶴川二中)  
 B 上田 純平(聖徳学園中)

○ソフトテニス部  
 A 橋爪 彩音(練馬中)

○バドミントン部  
 A 古川 敦也(深川三中)  
 G 堀口 幸音(佃中)

○剣道部  
 F 齋藤 雄太(三鷹三中)

○弓道部  
 B 松尾 樹乃(武蔵野四中)  
 I 島田 翼(千歳中)

○空手道部  
 H 渡部 璃久(洋光台一中)  
 G 太田 椰子(西高津中)

○ゴルフ部  
 J 鈴木 将大(寺尾中)

○ウエイトリフティング部  
 J 細田 率生(駒形中)  
 K 中村 美陽(葛西中)

部活動(文化系)  
 ○写真部  
 K 上田 拓音(高井戸中)

○放送部  
 F 竹野 純(美しが丘中)

○サイエンス部  
 L 眞鍋 知也(松木中)

○情報部  
 G 永瀬 拓末(赤塚三中)

○演劇部  
 G 江成 安南(大野北中)

○吹奏楽部  
 K 小原 千愛奈(東中)

○バントワリング部  
 B 川端 萌衣(赤塚三中)

○カラীগールド部  
 K 森 愛理沙(千歳中)

○茶・華道部  
 H 柿平 千慧(滝野川紅葉中)

○料理部  
 E 荒井 美羽(松江一中)

○書道部  
 F 中里 真菜(第二南砂中)

○ダンス同好会  
 I 吉田 遥香(江戸川女子中)

団体功労賞  
 スキー部  
 テニス部  
 空手道部  
 ウエイトリフティング部  
 放送部

【その他のからの表彰】  
 東京都知事より表彰  
 東京都知事賞  
 L 堀尾 涼花(稲田中)  
 東京都私学財団より表彰  
 東京都私学財団賞  
 文化・スポーツ活動賞  
 F 中里 真菜(第二南砂中)  
 東京私立中学高等学校協会  
 協会表彰  
 F 中里 真菜(第二南砂中)  
 日本私立中学高等学校連合会より表彰  
 会長表彰  
 L 星 ひかり(国分寺三中)

東京都高等学校体育連盟より表彰  
 体育優良生徒  
 J 細田 率生(駒形中)  
 K 中村 美陽(葛西中)  
 優秀校  
 ウエイトリフティング部  
 優秀選手  
 C 佐久間 伶音(恩方中)  
 J 細田 率生(駒形中)  
 K 中村 美陽(葛西中)  
 東京都高等学校文化連盟より表彰  
 文化活動優良生徒  
 F 竹野 純(美しが丘中)  
 中里 真菜(第二南砂中)  
 杉並区より表彰  
 杉並区スポーツ栄誉賞  
 C 佐久間 伶音(恩方中)  
 J 細田 率生(駒形中)  
 K 中村 美陽(葛西中)

# 克己心

学校長 寒川 聡



「克己心」という言葉を聞いたことがありますか。読み方は「こつきしん」です。意味は己に勝つ力を指します。広辞苑によれば、「克己」とは「おのれにかつこと。意志の力で、自分の衝動・欲望・感情などをおさえること。」とあります。そしてその心が「克己心」です。

三十年前、高校三年生の担任をしたとき、受験で使うマークシート用の鉛筆にクラスごとに好きな言葉を入れることになりました。みんなに聞いてみたところ、「克己心」がよいとなりました。まだ持っているその鉛筆には「3年D組『克己心』最後まで諦めるな！」と刻まれています。何かを成し遂げようとするとき、

人はそれぞれの力に応じて努力し、目標に向かって進んでいきます。すぐにできることもあれば、未来への不安があったり、難しい目標に挑まなければならなかったりすることもあります。

私自身も、剣道の段位審査に何度か落ちていた時期があり、八段の先生に「なぜ君は受からないんだ」と言われたことがあります。そんなことを言われても答えようがありません。それでも出てきた言葉は、「自分に弱かったからです」でした。その後の審査では「頑張れ、諦めるな、まだ終わってない」と必死に自分を鼓舞しました。結果は合格。思わず涙が出ました。自分に勝つことができたと感じた瞬間でした。

また、「もういいか」「こんなもんだ」と途中で投げ出してしまっても少なくはありません。他の誘惑もあります。人が楽な方へ流れたくなるのは自然なことです。

すぐに結果が出ないことに焦ったり、自分には無理だと思ってしまう。そんなときこそ「克己心」です。目の前の不安や弱さに負けず、一歩でも前に進もうとする気持ち。それが、皆さんを大きく成長させてくれる力です。どんな道であっても、自分を信じ、昨日の自分に少しでも勝とうとする気持ちを忘れずに、前へ進んでください。

## 言葉の花束



### 一期一会

学年主任 相沢 由美(地歴公民科)  
大切にしたい欲しいものはみつ

「自分自身、周囲の仲間や家族、こ  
とやもの」  
忘れないで欲しい言葉はふたつ

「世界は誰かの仕事でできている」  
「みんなで作ろうおつきなわ」

伝えたいことはただひとつ

卒業、おめでとうございます。皆さんのこれからの活躍を期待しています。

「最高に楽しい三年間をありがとう！」

### 「本気」という感覚

A組担任 富田 俊(英語科)  
卒業おめでとうございます。大人

になって思うことは『「本気とは』を感覚的に学べたことは高校生活での一番の学びだった』ということ。この感覚は言葉では教えられません。高校生活での、その「実感」こそが、最高の学びです。不器用でも泥臭く無我夢中のその姿こそが「かっこいい」です。皆さんのかっこいい大人の姿を見られることを楽しみにしています。最後に一言、『「本気」以外に、人生を楽しくする方法があるなら教えてください！』

### 出合いに感謝

B組担任 寺島 伊織(数学科)  
ご卒業おめでとうございます。

鶴ヶ丘での三年間はいかがでしたか。高校生活を送る中で、様々な人と出会ったことと思います。いつも

一緒にいてくれる友人や尊敬できる先輩、頼れる後輩、親身になってくれる先生など多くの出会いの中で、今日という素敵な日を迎えています。人との出会いはとても貴重なことです。今まで、そしてこれから出会う人たちを大切に過ごしてもらえたら嬉しいです。みなさんのこれからの活躍に期待しています。

### 未来はあなたの手の中にある

C組担任 堀内 美和（理科）  
卒業おめでとうございます。皆さん、十年前に今の自分を予想できていましたか？予想通りの人、そうでない人、色々だと思えます。そして十年後の自分も、思い描いた通りのこともあれば、全く違う未来になることもあるでしょう。大切なのは、人生の岐路において自分で考え、自分で決めることです。それが自分の人生を生きたということなのだ、私は信じています。素晴らしい未来が皆さんに訪れますように。また会いましょう！

### 「推し事」

D組担任 鹿野 雄大（数学科）  
ご卒業おめでとうございます。突然ですが、皆さんの「推し」は

誰ですか？私にとつての「推し」は鶴高生です。元気に挨拶し、授業をしつかり受け、他愛もない話で一緒に笑い、行事や部活動に全力で取り組む。そんな皆さんと関わる「推し事」ができて私は幸せです。

「清らかであれ、勉強せよ、世のためたれ」私の母校の校訓です。私の人生理念である「他者貢献」にもつながっています。この三年間の鶴ヶ丘での学びを胸に、自分の理念を持って羽ばたいてください。皆さんの活躍を心から願っています。

### いつか、人生が「輝かしい」ものだったと誇れるように

E組担任 菊山 新士（地歴公民科）  
刺身が半額になった時間を見計らって行った日曜の夕方遅いスープ。そこで流れていたのが丁度三十年前に大学受験の会場に向かう時に聴いていた曲でした。「ポケットの夢それぞれの人生を賭けたね」その歌詞に励まされて解答した記憶が蘇りました。平穩を望むこともあるでしょうが、自らの人生を賭けなくてはならない場面もあるはずです。その際には、恐れず、それがどのような結果になろうとも自分の選択には責任を持って高みを目指し

て下さい！

### 人間万事塞翁が馬

F組担任 桐田 知典（地歴公民科）  
卒業おめでとうございます。これからの人生においていろんなことから一喜一憂することでしょう。そこでタイトルの言葉です。どんなに辛いことでも、時間が経つとそれほどでもないと思うことはありませんか。

「禍福は糾える縄の如し」ともいいます。幸か不幸か。どんな時も一時の浮き沈みに惑わされなくて、マイペースを保つてこれからの人生を歩んでください。

### 卒業おめでとう！

G組担任 村山 大輔（国語科）  
たまには遊びにきてね。

### 想いの種を蒔き、人生を刈り取る

H組担任 谷 幸一朗（数学科）  
想いの種を蒔き、行動を刈り取り行動の種を蒔き、習慣を刈り取り習慣の種を蒔いて、人生を刈り取る。何も蒔かないと、雑草という雑念が生い茂る。ご卒業おめでとうございます。

どんな未来を創造しますか。楽しみにしています。

### 「感動」すること勿れ！

I組担任 酒匂 守夫（国語科）  
昔読んだ漢文の本にこんな話が載っていました。魯の国で幼い少年が捕えられ、斉の国へと奴隷として連行された。数十年後になってようやく解放され、案内人に導かれて魯の国へと帰ることになり、元少年は大いに喜んだ。しかし案内人は元少年が故郷のことを何も覚えていないのを知った。道中彼を騙して遊ぶことにした。デタラメな家を目指して「ここが昔、君の住んでいた家だ。」と案内人が言うと元少年は声をあげて嘆き悲しんだ。また適当な墓を指して「これが君のご両親の墓だ。」と言うと地に伏して両親との別離を悔やんだ。やがて案内人と元少年は本当の生家に辿り着いた。案内人は今までの嘘を詫言いで、本当の両親の墓へと案内した。しかしその時、もう元少年には涙も嗚咽も出なかった。「感動」は人間を簡単に欺きまです。本当の両親との再会という真実を前にしても、心の準備が整っていないければ人間は泣くことすら出来ないのです。人間はそれほど愚かな

だということに戒めましょう。「この気持ちには、誰かによって意図的にもたらされたものではないのか？」と僕は考えることがあります。他人に気持ちを左右させられるのは気持ちの良いモノではありません。でもそれも自覚ができればの話です。「誇り」「嫌悪」「不安」人の感情をコントロールしようとするコンテンツを見るのが最近特に増えました。相手の気持ちを押し量るのは大事なことです。それはコントロールされるのとは別です。そんな訳で場の雰囲気にも飲まれて感動するのが僕は嫌いです。意地でもしません。そんなことより、楽しかったことでも思い出して話して一緒に笑おう。じゃあ、またな。

**祝！卒業**

J組担任 浅見 美幸(保健体育科)  
 高校生活やり残しはないですか？  
 部活・勉強・行事・恋…  
 兼備の力で全てを乗り越えた、太陽のような笑顔をふりまく、朗らかな君達を応援しています。  
 過ごした日々は、忘れません。  
 ありがとう。  
 幸あれ！

**地の塩、世の光**

K組担任 柿沼 宏暢(英語科)  
 卒業、おめでとうございます。重ねた挑戦と失敗は、貴方の背中に確かな翼を授けました。「地の塩、世の光」として、周囲を照らし支える存在になってください。Life is tough, but so are you. 継続したことでだけが、真実になります。迷わず進んでください。全ては、心の決めたままに。仲間と過ごした日々を胸に、未来を切り拓いてください。自分の道を信じ、羽ばたいてください。今を強く生きよ。Carpe Diem

**特進コース**

I組担任 中森 秀紀(理科)  
 誰一人欠けることなく卒業を迎えることができました。浅井、井原、加藤、木村、岳、元希、十代、寺澤、松浦、村松、茂木、山口、吉本、涼葉、板倉、影山、梶岡、鈴木、たむそう、出口、星、堀、堀尾、眞鍋、三野、森、吉田、倅世、みんなありがとう！

**毎日を大切に**

副担任 中根 聡(国語科)  
 私たちの日常は期限までにはやらねばならないことの積み重ねで出来ていると言っても過言ではありません

ん。これらの事に誠実に対応する以外、毎日を充実させる方法は、たぶん無いと思います。卒業おめでとうございます。充実した毎日を。  
**季節感と五感を大切に生きよう！**

副担任 磯崎 宏(英語科)  
 四季折々の色とりどりの花、ミンミンリンリン虫たちの合唱、ビュービュー北風の冷たさ、そよ風と春の景色、ザーザー恵みの雨、シンシン雪景色、柿やみかんの熟した色、清流に泳ぐ魚の姿、芽吹きや山々の躍動感、冬の夜空の星の輝き、朝日が昇る直前の輝き、ザクザク霜柱、成人式や七五三の和服の装い、思い切り吸う空気の美味しさ、ゴクゴク飲む水のおいしさ。季節感とオノマトペ、五感を通して得たものこそが本当の知識と知恵。

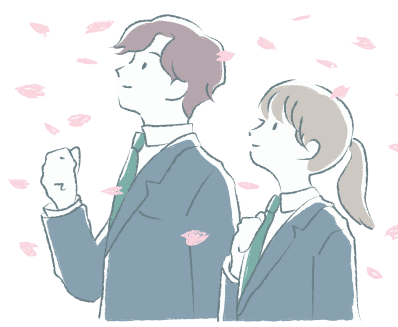
**時間の大切さ**

副担任 片桐 暢明(情報科)  
 日々時間は流れ続けています。遊んでいても、寝ていても、テレビを見ていても、勉強していても時間は流れています。時間の大切さは過ぎ去ってみるとよく分かります。みなさんの高校三年間は時間をうまく使えたでしょうか。これから進学し、

社会に出ていくこととなります。そしてこれからのいろいろなことに挑戦ができます。この大切な時間を有効に使って自分にとって悔いのない人生をつき進んでください。卒業おめでとう！

**素晴らしき哉、人生！**

副担任 齋藤 純(理科)  
 一九四六年のアメリカで公開された「素晴らしき哉、人生！」という映画があります。卒業後に壁にぶつかって自分に自信が持てなくなったとき、是非観てください。みなさんの周りには家族・恋人・友人・同僚など、助けてくれる人がいると思います。感謝の気持ちを忘れずに、素敵な人生を送ってください。応援しています。卒業おめでとうございませす！



## 卒業生の言葉

—三年間の思い出  
そして後輩たちへ—

### かけがえのない時間

三年G組 堀口 幸音 (佃中)



長いと思っていた二年間の部活生活は、振り返ると一瞬だったと今になって実感しています。

何も考えず、とりあえず入ったバドミントン部。入部後は筋肉痛に悩まされ、入らなきやよかったと後悔することもありました。二年生になり、先輩方から部長に任命されましたが、荷が重く、やりたくないのが本音でした。特に二年の秋頃は自分の実力が伸び悩んでいた時期で、部長としての仕事と自分の練習とを両立できず、精神的にも身体的にも負担が大きかったです。三年生になっ

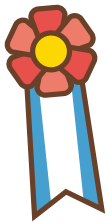
ても両立は多分できていませんでしたが、支えてくれた同期のおかげでなんとかやりきることができました。

一番思い出に残っているのはやっぱり引退試合です。団体戦西東京ベスト8という結果を残せて嬉しかったことももちろんですが、その先へ進めなかった悔しさもありました。試合後のあいさつでは涙が我慢できず、止まらなかつたのを覚えています。最後のミーティングで、みんなで泣いたり笑ったりしながら話した時間は今でも忘れられません。

正直に言うと、試合や練習よりも部活の帰り道になんでもない話をしたり、遠征先で一緒にご飯を食べたりした、そういうたわいもない時間が一番好きでした。些細だけれど大切な思い出で、これからも忘れずに過ごしていきたいです。最後に、磯崎先生、桐田先生、伊沢先生、後輩たち、そして同期のみんな、本当に貴重な時間をありがとうございました。

現代経済学科

進学先：成蹊大学経済学部



### 赤ジャージ

三年G組 永瀬 拓未 (赤塚三中)



赤いジャージを着て、鶴の教壇に立つ。それが私の夢だ。

赤いジャージの英語の先生。この三年間で私の人生を大きく変えてくださった先生だ。

私は先生に、英語よりも社会を教わったと思う。先生はどんな分野にも手を伸ばしており、その知見を、英語の新聞や動画を通してたくさん教えてくださったのだ。戦争、医療、雇用、文化：ただ英語を勉強しているだけでは絶対に気づかなかつた世界を、先生は英語を透かして教えてくれた。例えば、ウクライナ侵攻が始まった時期には、戦争のルールや、赤十字についての授業が開かれた。英語を学ぶって、こういうことなのかもしれない。今までの英語の常識が、先生によってひっくり返され

た。最新の生の英語を目の当たりにし、鶴高生のバイブル『ユメタン』に味気なく載っている英単語が、生き活きと生きていたのだ。その英語たちは、テストの点よりもっと大切な、「世界を知ること」を与えてくれた。私は先生の授業のおかげで、視野が本当に広がったと強く感じる。

私にとって高校は、英語に限らずとも、自分が知らない世界への扉をノックさせてくれる場所だった。

だから、今度は私がこの授業をする番だ。恩を返すべく、先生の英語を継ぐ。これからの高校生にも、この授業を通して世界を広げてほしい。私は将来、鶴ヶ丘に戻って英語教員になる。その日を鶴首して待ちながら私は、大学でより一層、未知の分野にも翼を広げて英語を学んでいくつもりだ。

進学先：成城大学文芸学部英文学科



### 最高の仲間

三年D組 藤吉 權 (世田谷中)



鶴高で過ごした三年間は勉強、部活、行事全てに全力で挑んだ時間だった。特に所属していた野球部の思い出が濃く頭に残っている。現役でプレーしていた当時はとても長く長く、引退した今ではありえないほどあつという間に感じる時間であった。

ただ、つらいと思うことの方が多かった。一つのミスで勝敗が決するという難しさ。結果が明確に数字で出てくる厳しさ。多方面からのプレッシャーに押しつぶされそうになった日々。どれだけ練習しても勝てる保証などなく、ただひたすら一つの目標に向かって、部員全員が青春の時間を注いできた。  
一人では到底耐えきれないこの濃い時間の中で私が得たのは「最高の

仲間」である。

組織で動くことは想像以上に難しく、うまくいくことの方が少ない。一人の失敗に全員が当事者となり考え、改善策を模索する。何かを成すためには何かを我慢しなければならず、時には激しくぶつかり合った。しかし、いついかなる時も「何かをやるなら全員でやろう」この結論にたどり着くことは変わらなかった。そんな仲間と必死になり、幾度となく高い壁を乗り越え、最後まで駆け抜けたあの時間が今、私にとって大きな財産である。

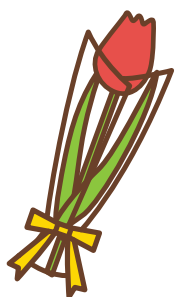
これを読む後輩たちにも部活の友達やクラスメイトなどの仲間がいると思う。ぜひその仲間と協働し、限りある残りの高校生活に全力で挑んでほしい。

私は鶴高で手に入れた宝物を胸に、仲間との縁が続くことを信じてこれからも進んでいく。

みんな、ありがとう！

進学先…明治大学総合数理学部

ネットワークデザイン学科



### 「こ」で出会えたすべてに感謝

三年D組 平石 奏音 (大鳥中)



私の高校生活は、大切な仲間を支えられ、充実した三年間となりました。また、自分自身が大きく成長できた密度の濃い時間だったと実感しています。

私は多くの行事で人前に立つ機会があり、その中でも二年生で経験した体育祭の応援団長は特に印象に残っています。私は器用ではないので、短いスパンでチームをまとめ、すぐに結果を出すことが得意ではありません。そのため、行事一つ一つに自分の全力を注ぎ、「今自分が出せるベストはどんなものなのか」を常に考えながら取り組んできました。その思いが強いあまり、時には厳しい言葉をかけ、仲間と衝突することもありました。リーダーとして至らない点が多かった私ですが、そ

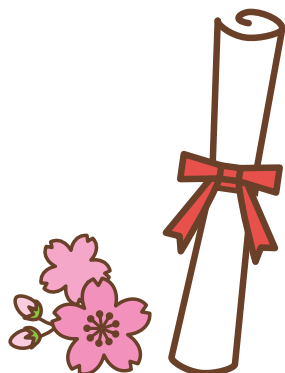
んな私に最後までついてきてくれた仲間の存在には感謝の気持ちでいっぱいです。

また、中夜祭などの有志発表に参加したことも、私の高校生活を語る上で欠かせない経験です。その中で、「声が枯れるまで叫ぶね」と言ってくれる友達、「本当に最高だった」「号泣した」と毎回伝えてくれる友達、終演後に泣きながら抱きしめてくれる友達。こうした素敵な仲間の存在なしでは、乗り越えられなかった日々だったと感じています。

最後に、この三年間私に関わってくださったすべての方に、心から感謝を伝えたいです。卒業したくないと強く思えるほど大切な環境と出会えたことを、私は誇りに思っています。三年間ありがとうございました。鶴高が大好きです！

進学先…日本大学理工学部

まちづくり工学科



## 令和7年度 第2学年修学旅行

### 【 沖 縄 】

令和7年12月に実施された2学年の修学旅行において、沖縄本島での5泊6日のおもな行程は以下のとおりである。

- 1日目**  
平和祈念資料館・平和の礎、アブチラガマの見学を通して平和学習
- 2日目**  
①基地内見学  
②コザの街歩き  
平和学習クルーズ・道の駅かでな、民泊入村式
- 3日目**  
民泊家庭での体験
- 4日目**  
民泊出発式、古宇利島での選択別アクティビティ  
①レンタサイクル②黒糖作り③シュノーケリング・バナナポート④シーカヤック・バナナポート⑤近海船釣り⑥シーサー作り  
ビーチBBQ、ハーリー大会
- 5日目**  
北谷にてフレンズアブロード  
事前学習で鑑賞した「ハクソーリッジ」のモデルである前田高地の見学
- 6日目**  
首里城見学後、国際通りの自主研修を実施し、那覇空港に集合

「平和学習」と「異文化交流」をテーマに、多くの貴重な経験をする事ができた。平和学習では、ガマや資料館の見学、語り部の講話を通して、沖縄戦の悲惨さや平和の尊さを自分事として考える姿が

見られた。また、米軍基地の周辺見学では、基地が地域社会に与える影響や日米関係について多角的に考察する契機となった。民泊では、受け入れ家庭との交流を通して沖縄の生活文化や価値観に触れ、生徒たちは積極的にコミュニケーションを図っていた。フレンズアブロードでは、言語や文化の違いを超えて相手を理解しようとする姿勢が育まれた。本旅行で得た学びと経験を、今後の学校生活や将来に活かしてほしい。行程中は良い天候にも恵まれ、屋外での活動や見学も予定通り行うことができた。この修学旅行に関わったすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいである。



### 「遠くのこと」ではない

鈴木 野乃 (2F・緑丘中)

5泊6日の修学旅行の中で、私は多くの大事なことを学びました。一つは、平和の大切さです。今回の平和学習を通して特に印象に残ったのはアブチラガマの体験でした。実際に重症患者の方が置き去りにされていた場所で全ての明かりを消して目を閉じた時、どうしようもない孤独感と絶望感に襲われました。当時の人たちはこの何十倍もの思いを抱いていたと思うと、とても胸が苦しくなりました。その場所から地上に上がった時、鮮やかな緑の植物や鳥の声、心地良い風のありがたさを改めて感じる事ができました。私たちの命は様々な人が必死でつないできたものであり、それを伝えていくことが大切なのだと実感する事ができました。

もう一つは沖縄の文化の豊かさです。毎日の食事や

民泊体験などで、沖縄固有の素敵な文化をたくさん見えてきました。その中で人口流出や減少によって衰退してしまいそうな文化があることも耳にしました。また街を歩いている最中、頻りに米軍の戦闘機の音が聞こえてきました。これらの問題は沖縄だけでなく日本全体が自分のこととして考えていくことで、問題の解決につながっていくと考えました。そのためには、まず私たちが積極的に諸問題に関する様々な考えをもつことが必要だと痛感しました。平和や文化を維持し続けるためにも、全員が遠くで起きていることと片付けるのではなく、過去を振り返って自分の事でもあるのだと考え続けていくこと。それが悲惨な過去を繰り返さないことにつながると思います。これからも考え続けていくことの大切さを忘れずに過ごしていこうと思います。

### 沖縄でのとても貴重な体験

景田 結心 (2G・大宮中)

今回の沖縄修学旅行では、主に「戦争」「平和」をテーマとして学習しました。また、いろいろな人と関わり、親交を深めることもできました。平和学習では、平和祈念資料館、平和の礎、アブチラガマ、前田高地や平和学習クルーズを通して、改めて戦争の恐ろしさを実感しました。また、戦争で亡くなられた方々が見ていた景色に触れ、そのときの気持ちを少しでも感じ取ることができたのではないかと思います。特に私は「アブチラガマ」が心に残りました。懐中電灯を頼りにしないと見えないほどの暗さで、5秒間全員で明かりを消した時に衝撃を受けました。病院としての役割を果たすアブチラガマの中で、ほとんど何も見えない状態で働いていたことを想像すると、洞窟の穴から差し込む光があるとはいえ、どれほど大変だった

のかと胸が痛みました。45分ほど中にいたのですが、もう外に出たいと感じたり、少し息苦しくなったので、そこに何か月もの間身を隠して、何十人かが助かったということは、本当に奇跡だと改めて痛感しました。

また、もう一つ思い出に残っていることは民泊です。私たちが受け入れてくださった方はとても優しく、私たちは沖縄の方言を覚えてもらったり、沖縄料理を食べやすいように作っていただきました。本当にすべてが美味しく、毎回の食事が楽しみでした。また、美ら海水族館、パイナップルパーク、綺麗な海にも連れて行っていただき、沖縄を十分に楽しめました。海で拾った貝殻でチャーム作りもしました。沖縄修学旅行では観光だけでなく、貴重な体験ができ、色々な方との関わりを通して、本当に最高の思い出になりました。

## 【マレーシア・シンガポール】

- 1日目** 成田空港 → チャンギ国際空港（シンガポール） → クアラルンプール国際空港（マレーシア） → ホテル  
**2日目** カンボンビジット → バティック染め or ピューター体験 → バトゥ洞窟 → ホテル  
**3日目** 王宮 → バティック染め or ピューター体験 → 飲茶料理 → 独立広場&セントラルマーケット → ピンクモスク → 三井アウトレットパーク → クアラルンプール国際空港 → チャンギ国際空港 → ホテル  
**4日目** B&S（国際交流） → シンガポール市内研修（マライオン・ガーデンズバイザベイ・マリーナベイサンズ） → 夕食 → ナイトサファリ → ホテル  
**5日目** 班別自主研修 → スペクトラショー（於：マリーナベイサンズ） → チャンギ国際空港 → 成田空港

マレーシアでは、「カンボンビジット（農村体験）」「バティック染め（ろうけつ染め）体験」「ピューター（錫製品）の制作体験」「ピンクモスクの訪問」などを通して、マレーシアならではの文化と暮らしの多様性を実感することができました。

シンガポールでは、「B&S（現地大学生との国際交流）」「ナイトサファリ」「自主研修（1日）」を通して、楽しみながら、自然と都市が調和する国ならではの魅力や多様性を実感する時間を持つことができたよう

す。

この旅行でのさまざまな体験を通して、生徒の皆さんの視野が広がり、世界を新しい角度から見ることができるようになっていれうれしく思います。

いろいろな出来事や気持ちなどが凝縮された中身の濃い素敵な4泊6日の修学旅行でした。この修学旅行に関わってくださったすべての方々はこの場を借りて感謝申し上げます。どうもありがとうございます。

## 修学旅行の思い出

黒澤 唯（2E・松が谷中）

修学旅行の思い出として特に印象に残っていることが2つあります。

1つ目は、カンボンビジットです。普通の旅行ではなかなか体験できないということもあり、特に印象に残っています。まず自己紹介をして、その後、お昼ご飯をいただきました。カレー、サラダ、オムレツ、そしてナゲットが用意されていました。とても美味しかったです。手を用いての食べ方も教えてもらいました。最初は抵抗がありましたが、楽しく食べることができました。食後は、マレーシアの伝統遊びであるチョンカをしました。チョンカはマンカラのようにおはじきを使う遊びです。マンカラとは少しルールが違いましたが、家の方が優しく教えてくださったので、最後は

自分たちどうして戦えるようになりました。英語でコミュニケーションをとることは難しかったけれど、たくさん会話することができて、とても良かったです。

2つ目はナイトサファリです。雨上がりだったため気温が少し下がり、見学するのにちょうどよい環境でした。普段はなかなか見ることのできない夜行性の動物が活発に動く様子を間近で観察することができ、非常に印象に残りました。特に、至近距離で見た動物たちは迫力があり、貴重な体験となりました。

修学旅行でしか体験できないようなことがたくさんあり、良い経験になりました。またもっと流暢に会話できるように、英語の勉強をより一層頑張りたいと思いました。無事に行って帰ってこれたのは皆さんのサポートがあったからであり、感謝の気持ちを忘れないようにしようと思っていました。

## 最高の旅

田中 杏（2B・中野二中）

待ちに待ったマレーシアとシンガポールへの修学旅行は想像以上に濃い時間になりました。行く前は、海外へのドキドキと不安がありましたが、最終日には、まだもう少しいたいなという気持ちになりました。

マレーシアが一番印象に残っているのは、バトゥ洞窟です。着いたときは生憎の雨で、目の前にあるカラフルで長い階段を見た瞬間は、こんな長い階段登れるのかなと思いました。ですが、雨に濡れて一歩ずつ友人と登っていくのは、今思えば修学旅行ならではの特別な時間でした。頂上に着いてから見た景色と達成感は一生涯忘れられません。

また、現地の大学生に案内してもらったB&Sも、と

ても楽しい時間でした。最初は英語でうまくコミュニケーションが取れるか不安でしたが、大学生のカイさんが優しく接してくれたおかげで、すぐに打ち解けることができました。案内してもらっている途中で飲んだココナッツジュースは、とても美味しくて、忘れられない味でした。

そして最終日。シンガポールでの自由行動は一番楽しかったです。セントーサ島で眺めた海や、アートサイエンスミュージアムでの展示はとても美しく、良い経験でした。

最初は他のクラスの人も含めた班で仲良くなれるか不安でしたが、最後にはこのメンバーで良かったと思えるくらい仲良くなったことが、この旅で一番の収穫でした。





朝のメッセージを振り返る

第一学年主任 久保田善政



毎朝行われる教員の打ち合わせでは、一日の動きや生徒への伝達事項等を確認します。その中には、学年主任としてぜひクラスで伝えて欲しいメッセージも含まれます。担任の先生方は、私からのメッセージを自分の経験を踏まえて、自分の言葉でクラスで語ります。今年の一月までに出したメッセージをいくつか振り返ります。

高校生になりました。「本校は、きちんと出席をして、やるべきことをやるべきときにやって、出すべき

ものを出し、取るべきものを取らないと進級ができません。卒業ができません。その先の進学ができません。」なぜ学校に通うのか? 「自身自身の課題達成に向けて、いろいろな人と折り合いをつけながら付き合っ、みんなで取り組んだり、答えが一つだけではない問いに対応する、といった経験を積むためである。」本校は私立学校です。「独自の建学の精神教育理念があります。それを踏まえて、鶴ヶ丘高校として理想の高校生像、こうあるべきというのがあります。頭髮と服装のルールもそのうちのひとつです。」

多くの仲間がいます。「お互いに気に掛けて、声を掛け合っ、フォロワーしあおう。だんだんお互いがわかってくると、合う合わない苦手……、そういうのはあつて当然。仲間としてお互いに配慮を。」だんだん遠慮がなくなつてきました。「我々多くの人との関係の中で生きていく。ここにいるのはあなたとあなたの周りの数人、だけではありません!自分のわがままを抑えたり……、折り合いをつけたり……、といったことが必要です。大変ですけど、大人・社会人として必要になってきます。」「クラスの雰囲気どうですか?足を引っ張るのではなく、手を引っ張つてあげること……;できま

せんか?授業中も休み時間も、みんなにとって居心地のいい空間をみんなで作りませんか?」鶴ヶ丘祭に向けて。「和衷協同」心を同じくして共に力を合わせ、合唱祭・鶴ヶ丘祭を盛り上げよう。鶴ヶ丘祭まであと……」

i Padやスマートフォンの使用について。「自分をコントロールできていますか? 日常生活学校生活に支障をきたしていたら、依存傾向。就寝時刻が十二時過ぎ……、日中のパフォーマンスが確実に低下。授業や部活で影響出てませんか?」「保護者を不安にさせていませんか?やるべきことをやるべきときにちゃんとやっている、あなたがちゃんと説明しよう。取るべきものをちゃんと取っている、いい点数・成績を見せよう!十二時には就寝しよう!」

勉強しよう。授業を大切に!」得意なものも教えたり、苦手なものは教えてもらったり、お互いにフォロワーしあおう!」「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る……」「成績順位貼り出しています。頼りになる仲間がいっぱいいます。うまく頼ろう!」「日々の授業を大切に! 隣の子がうつらうつらしてたらどうする?」今垂らしているよだれは将来の涙!」

毎月の「ことば」と

共に振り返り2—常時

第二学年主任 田口 裕基



◇四月のことば

《New School Year's Resolution

》新学年の抱負をたてよう》

四月七日の始業式は晴れ。この学年の新たなリスタートの日である。クラスは分かっているてもクラスメイトが誰か、担任が誰かはわからないワクワクドキドキの中のスタートとなった。

◇五月のことば

《一五二八家庭学習の習慣化》

四月のスタディーサポーターの結果から、平日一時間三十分、休日二時間四十八分という目標を立てた。一年次と平日の学習時間は同じだが、休日が十八分増となった。

◇六月のことば

《文武両道の真価が問われる高二

水無月》

三年生が徐々に引退し、二年生が部活でも中心メンバーになり忙しさを

が増す中、文化祭ではクラス展示があり、その後の一学期期末試験……、文武両道の大変さを改めて体感したのでは？

◇七月のことば

《一学期の積み残しは七月中に解消！》

文武両道とは言っても普通の学校生活ではアンバランスになりがちである。そこで七月、八月は一学期学習内容の総復習に注力し、未消化分をクリアにした上で、二学期を迎えよう。

◇九月のことば

《高校生活も後半戦へ突入！》

全員が登校するのはせいぜい三年十二月くらいまでである。そう考えると二年九月は三年間の折り返し地点を過ぎたところとなる。入学時の新鮮なキモチを今一度思い出してほしい。

◇十月のことば

《今こそ八時登校》

夏休み明けから全体的に登校時間が遅くなり、八時三十分前後に来る生徒が増えてきた。登校時間を遅くするのは簡単だが、いったん遅くした登校時間を早くするのは至難の業だ。

◇十一月のことば

《まず期末 マレシン沖縄 憂いなく―常時》

修学旅行の直前に二学期期末試験

があつたので、しっかりと結果を出し、成績の憂いなく、修学旅行に行き、最高の思い出を作ってもらいたい、という思いから詠んでみた。

◇十二月のことば

《受験モードへの切り替え（第一弾）》

修学旅行が終わるタイミングで「受験モードに切り替える」ことが上手にできる生徒とそうでない生徒では一年後の第一志望達成率に必ず大きな差が生まれる。

◇一月のことば

《三年〇学期スタート》

一年後の今、三年間の高校生活に悔いが残らないよう、一人一人が生懸命、日々の努力を積み重ねていこう！

感謝

第三学年主任 相沢 由美



三月になれば三年生が卒業する。これまでと何ら変わらないことだが

今年度は例年以上にたまらなく寂しい。その寂しさの理由を八百字ほどのこの原稿に凝縮してみる。

それは学校行事にふりきつてきたからだ。鶴高だからできること、この学年だからできることを行事に存分に詰め込んできた。クラス単位での参加はもちろん、クラスを超えたグループで体験する機会も多々あった。一つひとつの行事に意味や共通認識を上乘せることで学年全体が同じ方向に進んでいく。

それは「学年」という枠組みを強固にしてきたからだ。四百人規模での一体感は人生でそう味わえるものではない。生徒目線ではもしかすると連帯感の方がしっくりくるかもしれないが、クラスや部活動、探究活動などの横のつながり「おっきなわ」はその名に違わず学年の輪を広げ、結束を強めてきた。

それはこの学年が、関わるすべての方々の仕事でできていたからだ。できない悔しさ、うまくいかないもどかしさを跳ねのけ諦めずに臨む。意見をぶつけ合い、得手不得手もフォローし合う。保護者のみなさまにも多大なご支援をいただいた。周囲の理解があったからこそ、生徒全員が学年の教員全員が挑戦することができた。

それは当たり前前の毎日が当たり前

ではなくなるからだ。全員が同じ制服を着て、同じ時間に登校して、授業を受けて、昼食を食べて、掃除をして、部活に励んで、家で勉強せずに寝る。特別なことをしなくても仲間や好きなひとに会える、特別な毎日。

それは明日から特別な毎日が戻れない日々になるからだ。きつと生徒は毎年そうであるように卒業式が終わると教室で最後のホームルームを受ける。名残惜しそうに写真を撮り続けたり、卒アルにメッセージをもらいにいったりする。その時間が最終下校時間で区切られたあとの生徒のいない教室に立ったときの寂寥感。

寂しいけれど笑顔で送ろう。これからもっともっと輝ける、その土台を鶴高で築けたに違いない卒業生への饒には程遠い後ろ髪を引かれる思いの八百字。この寂しさにありったけの感謝の気持ちを含めて。

出会えて一緒に三年間を過ごせたことに感謝してるよ。ありがとう。みんなならこの先も大丈夫。期待してるよ。



### インドネシア文通プロジェクト ~近い将来、同僚・同級生になるかもしれないあなたへ~

鶴高では現在、新たな国際交流企画「インドネシア文通プロジェクト」を実施しています。

本企画は、インドネシアの高校生と、あえて手紙による文通に挑戦する取り組みです。日本語教師としてインドネシア・ジャカルタで活躍する佐々木公大さん（2017年度卒業生）と共同で立ち上げました。

「海外に行く時間はないけれど外国の友達が欲しい」「面白そうだった」などの声から、30名を超える鶴高生と1名の先生が参加しています。

日本語を学ぶインドネシアの生徒から届いた手紙には、イラストや丁寧な日本語が並び、鶴高生も読みやすさを意識して心を込めた返事を書きました。また、2回の文通を経て、2月7日（土）にはオンライン交流会も開催。生徒たちは言葉や文化を越えたつながりを実感する貴重な機会となりました。



#### 大石 涼平（1C・府中第九中）

私がインドネシアという国に興味を持ったきっかけは、インドネシア語を面白いと感じたことでした。

インドネシア語は英語とよく似ていて、文字はアルファベットで、共通する単語もあります。しかし一方で、巻き舌や鼻濁音が多く使われており、独特の響きを持つ言語です。実際にその発音を聞いてみると、とてもリズムカルで、弾けるような話し方が新鮮に感じられ、強く興味をひかれました。

この文通プロジェクトは、私がまさに興味を持っていた国の人と実際に交流できる貴重な機会でした。参加できると知ったときは、初めて海外の人とやり取りをすることもあり、期待で胸が膨らみました。

最初の手紙を書くときは、もちろんお互いにどんな人なのかわかりませんでしたが、相手は一生懸命、たくさんの文章を日本語で書いて気持ちを伝えてくれました。そのことがとても嬉

しく、心に残っています。

オンライン交流会までの間、相手が実際にはどんな性格なのか、この活動にどれほど積極的なかなど、不安に思うこともたくさんありました。しかし、実際に顔を合わせて話し、声を聞いてみると、心配していたほどではなく、これまで手紙でやり取りしてきた言葉がその声と重なり、自然でリラックスした気持ちで会話をすることができました。

この経験を通して、距離が離れていても心の距離は縮められるのだと感じ、国を越えたつながりの温かさを実感することができました。



### 留学座談会 “Think Outside the BOx(TOBO)” — フランスに留学した先輩の話 編一 —

令和7年12月27日に、オンライン留学座談会を開催しました。本座談会は、長期留学を経験した先輩の体験を在校生と共有し、留学・越境への理解を深めてもらうことを目的として不定期に実施しています。

当日は、3年A組中川智遥さん（千登世橋中）をゲストに迎え、フランスでの10か月間の留学生活や今後の展望について話してもらいました。中川さんは、ほぼフランス語が話せない状態で3年次に留学に挑戦しました。言語や文化の違いなど多くの困難に直面しながらも、それらを乗り越えて貴重な経験を積んで帰国し、成長した姿を見せてくれました。休学し、卒業を1年遅らせて臨んだ留学の話は、後輩の生徒にとって大きな刺激となることでしょう。

英語圏以外への留学に挑戦した中川さんの経験は、在校生にとって視野を広げる貴重なヒントとなり、多様な高校生活の過ごし方や進路選択の可能性を示すものとなりました。

中川さんの留学についての詳細なレポートは、本校WEBサイトをご覧ください。



令和7年度 総合型・学校推薦型選抜合格者報告会 進路指導部 齋藤 純

1月24日(土)より、1・2年生の希望者を対象に、令和7年度総合型・学校推薦型選抜合格者報告会が開催されました。3年生はパワーポイント等の資料を活用し、それぞれ工夫を凝らした発表を行い、受講生徒はメモをとりながら真剣に耳を傾けていました。報告会後の質疑応答も活発に行われ、非常に意義のある報告会となりました。また報告会の後には、先輩に直接話を聞きに来る1・2年生の積極的な姿が見られました。

報告大学(発表順)と主な報告内容

・東京理科大学 先進工学部

マテリアル創成工学科<学校推薦型>

「通学時には単語、平日は教科書の基礎、休日は応用問題に時間をかけました。特に休日の勉強時間はそのままライバルとの差になります。面接官はプロです、騙せません。それでも溢れ出てくる熱意を伝えましょう。」

・順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科<総合型>

「最初は保護者の理解を得られずお互いに苦しんだが、自分の熱意と努力が伝わって保護者の協力を得ることができた。総合型はチャンスを増やす試験です。もし受験して合格したらラッキーで、駄目だったら公募、一般を覚悟して、とにかく勉強しましょう。」

・日本大学 芸術学部

映画学科 映像表現・理論コース<総合型>

「自分は勉強が苦手でどの教科も得意ではないし、どの学部学科にも魅力を感じなかった。しかし、たまたま自分は部活で真剣に取り組んできたことと志望先のアドミッション・ポリシーが一致していた。自分は幸運だった。」

・成城大学 経済学部 経済学科<総合型>

「全ては趣味のK-POPから始まったが、ちっぽけなことでも考え尽くせば武器になる。担任の先生には意図的に突拍子もない質問を出して貰って面接の練習を重ねたが、それが本番での自信に繋がった。」

・東京女子大学 現代教養学部 経済経営学科<総合型>

「学力よりも部活動や課外活動、ボランティアなど自分が自主的に取り組んだ実績で勝負をしたかった。少しでも興味のある活動を見つけたら、迷わず参加しましょう。私も偶然オープンキャンパスで参加したイベントが合格に繋がりました。」



短歌の部  
佳作 松尾 樹乃  
(三B・武蔵野四中)

令和七年度日本大学付属高等学校等第四十二回文芸コンクールの入賞者が決定しました。今年度は【短歌の部】で佳作(一名)をいただくことが出来ました。誠にありがとうございます。卒業生や在校生の皆さんにはコンクールに限らず、今後も国語力向上の一環として文芸への関心を高め、積極的に創作活動に励んでほしいと思います。国語科一同、皆さんの活動を引き続き応援していきます。

第四十二回文芸コンクール入賞者決定

部活動報告

■スキー部

▽全国・関東高等学校スキー大会東京都予選会

(1/5～8 於：鹿沢スノーエリア) 女子スラローム

第11位 石井咲亜耶 (2 B・筑波大附属中)

第16位 石原 雪羽 (1 A・十二月田中)

第31位 山下 真矢 (3 B・菅生中)

男子スラローム

第6位 近藤 純太 (2 B・瀬田中)

第65位 滝 謙太郎 (2 J・西新宿中)

女子ジャイアントスラローム

第5位 石井咲亜耶

第17位 石原 雪羽

第22位 山下 真矢

第32位 千田 風花 (1 J・向陽中)

男子ジャイアントスラローム

第5位 近藤 純太

第61位 早船 清峻 (2 A・北中野中)

◆全国大会出場権獲得◆

石井咲亜耶

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

近藤 優太

(男子スラローム・男子ジャイアントスラローム)

◆関東大会出場権獲得◆

石井咲亜耶

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

石原 雪羽

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

近藤 純太

(男子スラローム・男子ジャイアントスラローム)

滝 謙太郎

(男子スラローム)

千田 風花

(女子ジャイアントスラローム)

早船 清峻

(男子ジャイアントスラローム)

山下 真矢

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

■女子バスケットボール部

▽新人大会 (11/2～1/18)

1回戦 本校61-41東京電機大

2回戦 本校53-70石神井

■女子バレーボール部

▽新人選手権大会 (11/2、11/9)

リーグ予選

本校2-0都両国

本校2-0聖心女子

本戦1日目

本校2-1都三田

本校2-0頌栄女子

本校2-1成蹊

この結果、都ベスト32となり、

2/1に実施される本戦2日目へ

の進出が決まった。

■アメリカンフットボール部

▽第25回STICK BOWL (関東高校選抜対抗戦)

(12/28於：駒沢第二球技場)

【東京都選抜チーム】

星野 恭介 (2 G・調布三中)

菱木 彩人 (2 I・大泉中)

山田 直紀 (2 H・西宮中)

首藤 武尊 (2 C・西武学園文理中)

【戦績】

東京選抜A 52-22 SICN選抜

東京選抜B 17-7 神奈川選抜

▽第15回NEW YEAR BOWL (関東地区選抜・関西地区選抜対抗戦)

(1/11於：MKタクシーフィールド EXPO)

【東京都選抜チーム】

菱木 彩人 (2 I・大泉中)

【戦績】

東京選抜42-0大阪選抜

■バドミントン部

▽高校総体 (6/8～15)

予選 (男女団体) 西東京

男子3回戦

女子ベスト7

■ウエイトリフティング部

▽東京都高等学校ウエイトリフティング競技秋季大会 (10/26)

男子56kg級 トータル170kg 1位

小川 真人 (2 H・松ノ木中)

男子71kg級 トータル213kg 1位

星野 将男 (2 A・三鷹三中)

男子71kg級 トータル123kg 2位

石井 大河 (1 A・富士見丘中)

男子79kg級 トータル117kg 2位

岩田 碧 (1 A・松沢中)

女子77kg級 トータル90kg 1位

渡邊 なる (1 E・船橋希望中)

▽東京都高等学校新人大会ウエイトリフティング競技 (11/23)

男子56kg級 トータル173kg 1位

小川 真人

男子71kg級 トータル222kg 2位

星野 将男

男子71kg級 トータル129kg 3位

石井 大河

男子79kg級 トータル170kg 1位

中川 湧統 (1 B・瑞雲中)

男子79kg級 トータル136kg 2位

岩田 碧

女子69kg級 トータル90kg 1位

渡邊 なる

▽第41回関東高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会 (1/10～11)

男子56kg級 トータル174kg 4位

小川 真人

男子71kg級 トータル218kg 3位

星野 将男

男子79kg級 トータル217kg 4位

中川 湧統

▽三宅義信杯第12回東京都ジュニア選手権大会 (1/18)

男子56kg級 トータル175kg 1位

小川 真人

男子71kg級 トータル205kg 1位

星野 将男

男子71kg級 トータル150kg 2位

石井 大河

男子79kg級 トータル223kg 1位

中川 湧統

男子79kg級 トータル146kg 2位

岩田 碧

男子94kg級 トータル270kg 1位

細田 率生 (3 J・駒形中)

女子69kg級 トータル104kg 1位

渡邊 なる

■放送部

▽第48回東京都高等学校文化祭 (地区大会11/3、中央大会11/16)

朗読部門 奨励賞 (7位相当)

江澤 美玲 (1 F・和田中)

▽第23回関東地区放送コンクール (1/25 日本大学法学部)

生徒実行委員

金子 漣 (2 C・鴨志田中)

栗原 優真 (2 I・阿佐ヶ谷中)

中村 心咲 (2 I・稲田中)

▽日本大学付属高等学校等文芸コンクール (2/19 日本大学会館)

司会担当

横田さくら (3 K・宮崎中)

栗原 優真

中村 心咲

邊母木桃子 (2 K・調布七中)

江澤 美玲

■バトントワリング部

▽第29回シニアバトントワーリングフェスティバル (12/21)

出演

▽東京都バトン協会バトントワーリングコンテスト世田谷区大会 (1/11)

入門・初級 金賞受賞

関東6種目 ベア 初級金賞

前原芽莉紗 (2 F・井荻中)

谷知日奈子 (2 I・岡野中)

■料理部

▽体育祭用マドレーヌ提供 (10/29 300個)

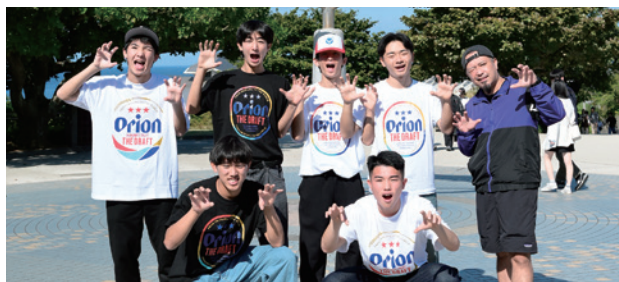
▽おもてなし企画 (Evie) (11/6)

▽おにぎりアクション参加 (11/11)

▽ケーキ講習 (12/15)

▽クリスマスケーキ製作依頼 (12/25)

第2学年  
沖縄修学旅行



第2学年  
マレーシア・シンガポール修学旅行

